

「岡崎おうはん」への粃米配合飼料の給与が産卵性能、卵の官能評価および飼料利用性に及ぼす影響

○福澤陽生・山西真樹・井出 歩・樫 孝英・井畑恵吾・大山雄士・榛澤章三・神林明義（家畜改セ岡崎牧場）

[目的]飼料原料の多くを輸入に頼る我が国の養鶏分野において、飼料米の利用は飼料の安定供給、自給率向上等の面から期待が大きく、実際、卵用鶏や肉用鶏について配合飼料中のトウモロコシの代替品や、配合飼料自体の一部置換品として飼料米を利用する試みが行われている。当場の山西は、2009年に卵肉兼用種「岡崎おうはん」に対して飼料用玄米を給与し、成鶏飼料の20%を一定期間、置き換えても特段の支障が認められないことを報告した（日本家禽学会2011年度秋季大会）。一方、鶏は粃米を給与できるというメリットがあるため各地の銘柄鶏での給与試験結果が公表されており、当场でも粃米を利用した飼養管理技術への関心があった。そこで本研究では、産卵開始前からの飼料用粃米の配合飼料への混合給与が、「岡崎おうはん」の各種性能に及ぼす影響を調査した。[方法] 岡崎おうはん（雌100羽）を2区（各区2反復）に分け、それぞれ市販の成鶏用飼料に対し飼料

用粃米（べこあおば）を0%（対照区。CP:17.0%、ME:2,830kcal/kg）、20%（試験区。CP:14.4%、ME:2,770kcal/kg、炭酸カルシウムとプレミックスを添加）となるように置換した飼料で95日齢から483日齢まで給与試験し、体重、産卵率、卵質（卵重、卵殻色、卵殻強度、ハウユニットおよび卵黄色）、卵の官能評価、飼料利用性（飼料摂取量、飼料要求率および飼料効率）を調査した。[結果] 体重、産卵率および飼料利用性で差は認められなかった。卵質では、卵黄色で全期間にわたって差がみられた。卵の官能性では、ゆで卵黄および生卵黄の色で差が認められた。以上の結果より、「岡崎おうはん」に給与する成鶏用飼料の20%を飼料用粃米に置き換えた場合、低CPとなるにもかかわらず遜色ない産卵性能を発揮する可能性が示唆されたが、卵黄色に留意する必要があることが明らかとなった。

「岡崎おうはん」への粳米配合飼料の給与が産卵性能、卵の官能評価および飼料利用性に及ぼす影響
○福澤陽生・山西真樹・井出 歩・檜 孝英・井畑恵吾・大山雄士・榛澤章三・神林明義

演題希望分類：飼料・栄養

（遺伝・育種、繁殖、生理、疾病、飼料・栄養、経営・管理・畜産物利用、より選択する。）

優秀発表賞の対象者：◎

（講演者が発表時点で学生あるいは満 30 歳以下の場合は、◎印を付ける。）